

## SELECTION & SPECIFICATION DATA

<b>一般名</b>	厚膜形エポキシ樹脂塗料 ロングインターバルタイプ
<b>塗料のタイプ</b>	エポキシ/ ポリアミドアミン
<b>一般特性</b>	インターバルフリーのエポキシプライマーで、長期間の塗装間隔を持つ。 鉄構造物、食品、醸造、繊維、製紙、機械、機器製造工場の鉄骨、コンクリート構造物、および装置機器類への使用が推奨される。
<b>特長</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大で180 日の塗装間隔</li> <li>有害重金属フリー</li> <li>鉄、非鉄金属との付着性に優れる</li> <li>低VOC 塗料(重量固形分70% 以上)</li> </ul>
<b>色相</b>	グレー、白
<b>下塗り</b>	カーボジンク11 など または被塗面に直接塗装  無機ジンクリッチペイント上に塗装する場合は、発泡を防ぐためミストコートが必要な場合がある。
<b>固形分</b>	容量 51%
<b>固形分</b>	重量 70%
<b>混合物密度</b>	1.39 +/- 0.05 g/ cm <sup>3</sup>
<b>VOC</b>	供給状態で : 417 g/ L

塗装方法	乾燥膜厚 (ミクロン/ 回)	理論塗付量 (g/m <sup>2</sup> )	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )*
スプレー	100	273	430 ~ 490
ハケ・ローラー	50	136	180 ~ 210

\*: 標準使用量は、被塗物の形状や塗装する部位、被塗面の表面状態、風速・気温等の環境条件、塗装作業者の技量等、種々の条件によって変化する場合がある。詳細はジャパンカーボライン社まで問い合わせること。

<b>ウェット/ ドライ比</b>	1.96 (無希釈)
<b>タレ限界膜厚</b>	250 ミクロン (ドライ)
<b>耐熱性</b>	連続: 120°C (248°F)
<b>注意点</b>	浸漬される箇所、あるいは強酸および溶剤が飛散する箇所には推奨されない。
<b>上塗り</b>	カーボマスチックカラーII、カーボタン234 HS など

## 下地処理

<b>一般</b>	被塗面に付着している油、グリース、汚れ等を溶剤を用いて拭き取る。
<b>鋼材</b>	ISO Sa 2 (表面粗度: 25-50 ミクロン) 以上のブラスト処理をおこなう。

# カーボガード193 ロング

製品データシート



## 混合および希釈

<b>混合</b>	基剤を動力攪拌し、硬化剤と混合後、均一になるまで動力攪拌する。 基剤、硬化剤は全量を混合することを原則とするが、やむを得ず小分けして使用する場合には、基剤と硬化剤をそれぞれ均一になるように攪拌し、その後正確に秤量し使用する。
<b>希釈</b>	カーボラインシンナー15の使用が推奨される。強風や高温時の塗装でスプレーダストや発泡の生じるおそれのある場合は、カーボラインシンナー33を使用する場合もある。 ジャパンカーボライン社が推奨、供給する以外のシンナーを用いた場合は、塗料の性能に悪影響を与える恐れがある。
<b>混合比</b>	基剤：硬化剤 = 85：15 (重量比)
<b>可使時間</b>	5°C: 20 時間 10°C: 16 時間 20°C: 8 時間 30°C: 4 時間

## 塗装機器に関する指針

以下は、本製品を塗装する場合の塗装機器に関する一般的な指針である。塗装現場の状況によっては、望ましい結果を得るためにはこれらの指針の変更が必要な場合もある。

<b>塗装機器</b>	エアレススプレー、エアスプレー、ハケ、ローラー
<b>エアレススプレー</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 圧縮比: 30 : 1</li><li>• 塗料圧: 12-18 MPa</li><li>• オリフィスサイズ: 0.017-0.021"</li><li>• チップフィルター: 50 Mesh (必要あれば)</li><li>• 希釈率: 10% 以下 (重量比)</li><li>• 適正粘度: 1.0-2.0 Pa·s (10-20 ポイズ)</li></ul>

## 塗装条件

条件	被塗面温度	気温	湿度
最低	10°C (50°F)	10°C (50°F)	0%
最高	50°C (122°F)	43°C (109°F)	85%

## 硬化条件

被塗面温度	硬化	最大塗り重ね可能時間	最小塗り重ね可能時間
5°C (41°F)	36 時間	180 日	36 時間
10°C (50°F)	24 時間	180 日	24 時間
20°C (68°F)	12 時間	180 日	12 時間
30°C (86°F)	6 時間	180 日	6 時間

10°C 以下の場合、適切に硬化させるには加温が必要。

上表は、乾燥膜厚100 ミクロンの場合である。厚膜・換気不足・低温等の条件では乾燥時間が長くなり、溶剤の閉じ込めや早期の不具合が発生する可能性がある。硬化中の高湿度条件あるいは結露の発生は、硬化の妨げとなり、変退色やくもりの原因となる。くもりやブラッシングは塗り重ねの前に必ず水洗すること。

## 荷姿、取扱および保管

保存可能期間 | 製造後12 ヶ月 (未開封の場合)

保管条件 | 屋内に保管すること。

正味重量	20 kg セット
基剤	17 kg
硬化剤	3 kg

	引火点 (°C)	有機則区分	危険物分類
基剤	15	2 種	4 類1 石 非水溶性液体
硬化剤	18	2 種	4 類1 石 非水溶性液体
カーボラインシンナー15	27	2 種	4 類2 石 非水溶性液体
カーボラインシンナー33	35	2 種	4 類2 石 非水溶性液体

\* 安全情報に関する詳細は、安全データシート (SDS) をご参照ください。

## 更新情報

最終更新 | 2023 年5 月

管理番号 | PDS008-015

## 付記事項

当社が知る限り、本資料に含まれる技術データは正確ですが、予告なく変更される場合があります。特に記載がない限り、本資料に含まれる製品名・社名はカーボライン社の登録商標です。安全に関する情報の詳細については、SDSをご参照ください。